

今週（2月15日から2月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期が切り替わる週となり、15日と16日以降でレート水準に変化が見られた。積み最終日の15日は、着地に向けた調整から資金調達ニーズが強まり、地銀業態で▲0.01～▲0.003%、都銀業態でも▲0.01%程度の出合いが見られ、無担保コールO/N加重平均レートは2016年4月以降の最高値となっている▲0.008%に並んだ。レートはほぼ限界まで上昇しており、調達サイドはマクロ加算残高の余裕枠を大きく残し残る事が窺えた。新積み期となった16日以降は、調達スタンスの違いから都銀業態と地銀業態でレートがやや乖離した。ワイドレンジの出合いとなったものの、引き続き各種オペによってマクロ加算残高に余裕がある地銀を中心に、調達姿勢の強いスタートとなった。加重平均レートはやや低下し、▲0.02%前後での推移が続いた。週末の19日はやや上昇した。ターム物は月内エンドのショートターム物で▲0.01%近辺の出合いが見られた。日銀当座預金残高は、各種の金融調節や15日の年金定時払いを受けて先週末より増加し、493～494兆円程度で推移した。

●レポ市場

今週のO/N GCIは、▲0.095～▲0.080%のレンジでの取引となった。出合いは投資家の資金調達が中心で、レートは安定的に推移した。

SCは個別銘柄では2Y414～420、5Y139～146、10Y349～361、20Y169～175、30Y66～69、40Y13など、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全体的に動意に乏しい中、3M物が▲0.110～▲0.105%、6M物が▲0.115%近辺、1Y物が▲0.135%近辺での出合いが見られるなど、堅調な推移となった。

16日に実施された短国買入オペは、前回から5,000億円減額の1兆円でオファーされ、平均落札利回較差+0.003%、按分落札利回較差+0.001%と、やや弱めな結果となった。

18日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.120%での出合いが見られる中、平均落札利回・按分落札利回共に▲0.1221%と、順調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.140～▲0.135%出合いと、強含みで推移した。

19日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.101～▲0.100%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1020%、按分落札利回▲0.0986%と、しっかりした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.101～▲0.099%出合いと、入札と同水準で推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、週間償還総額4,500億円程度に対し、発行総額は7,000億円程度と発行超となった。月中旬で特段のイベントは無かったものの、非常に良好な発行環境が続いており、当初の予定より増額した発行案件が散見された。2月ということもあって、期間は期内物が中心となった。引き続き新型コロナオペの担保需要は根強く、例年とは異なり、期内・期越え物問わず極めて強い買いが多く見られた。発行レートはマイナス圏が続いており、過去最低水準となっている。市場残高は先週より小幅に増加し、25兆円台半ばが見込まれる。

●短期金融市場関連指標

| | 日経平均 (円) | 新発10年物 国債利回り (%) | 為替 (ドル/円中心相場) | 無担保コールO/N (加重平均・%) | 東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%) | 日銀当座預金残高 (億円) |
|----------|-----------|---------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 2/15 (月) | 30,084.15 | 0.075 | 105.05 | △ 0.008 | △ 0.087 | 4,931,100 |
| 2/16 (火) | 30,467.75 | 0.075 | 105.47 | △ 0.021 | △ 0.089 | 4,946,000 |
| 2/17 (水) | 30,292.19 | 0.095 | 106.15 | △ 0.022 | △ 0.095 | 4,930,200 |
| 2/18 (木) | 30,236.09 | 0.090 | 105.72 | △ 0.022 | △ 0.091 | 4,937,500 |
| 2/19 (金) | 30,017.92 | 0.100 | 105.71 | △ 0.019 | △ 0.087 | 4,935,500 |

来週（2月22日から2月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

| | 国内主要経済指標 | 国債等入札予定 | | | 海外主要経済指標 |
|----------|--|----------------------------|----------------------------|--|--|
| 2/22 (月) | 1月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) | | | | |
| 2/23 (火) | 天皇誕生日 | | | | 12月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 1月のユーロ圏消費者物価指数改定値 |
| 2/24 (水) | | TB6M 34,000億円 2/25発行 | 流動性供給 5,000億円 2/25発行 | | 1月の米新築一戸建て販売件数 2月の米CB消費者信頼感指数 |
| 2/25 (木) | 12月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00) | 交付税借入 10,500億円 3/5借入 | | | 10-12月期の米GDP改定値 1月の米耐久財新規受注 |
| 2/26 (金) | 2月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 1月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 1月の住宅着工統計(国土交通省 14:00) | TB3M 67,000億円 3/1発行 | 2Y 30,000億円 3/1発行 | | 1月の米個人所得・消費支出 2月のシカゴPM景況感指数 |

●資金需給予想

| 単位：億円 | 銀行券要因 | 財政等要因 | 資金過不足 | オペ種類 | 期日分 | 新規実行分 | オペ合計 | 実質過不足 | 需給要因 |
|----------|---------|----------|----------|------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|-----------|--|
| 2/22 (月) | ▲ 700 | ▲ 31,500 | ▲ 32,200 | 国債買入 CP買入 社債買入 国債補完 | ▲ 300 100 | 12,300 1,500 | 13,600 | ▲ 18,600 | TB3M発行▲67000償還50600 TB1Y発行▲35000償還14900 エネルギー対策借入▲5500期日5000 |
| 2/23 (火) | 天皇誕生日 | | | | | | | | |
| 2/24 (水) | ▲ 1,000 | 1,000 | 0 | | | | 0 | 0 | |
| 2/25 (木) | ▲ 1,000 | ▲ 5,000 | ▲ 6,000 | 全店共通 | ▲ 3,600 | | ▲ 3,600 | ▲ 9,600 | TB6M発行▲38000償還32100 流動性供給▲5000 国有林野借入▲959償還956 |
| 2/26 (金) | ▲ 800 | 8,800 | 8,000 | CP買入 新型コロナ支援 | ▲ 182,900 | 6,000 | ▲ 176,900 | ▲ 168,900 | |
| 週間合計 | ▲ 3,500 | ▲ 26,700 | ▲ 30,200 | — | ▲ 186,700 | 19,800 | ▲ 166,900 | ▲ 197,100 | |

2/22は日銀予想、2/24以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き地銀を中心に調達ニーズが強くなると見られ、無担保コールO/N加重平均レートは強含みでの推移が見込まれる。レポ市場は、引き続き投資家の資金調達が継続するものの、CASH潰しの資金運用の動きも入ることで、▲0.095～▲0.080%のレンジでの推移を予想する。短国市場は、24日に6M物、26日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、22日に実施が予想される短国買入オペのオフア額にも注目したい。CP市場は、22日にCP等買入オペが6,000億円で実施予定となっている。発行レートは低下しているものの、月末スタートとなることで在庫の入替ニーズは底堅いと見られる。また、3月の買入回数が2回と例年より少ないこともあり、レートは低下しにくいと考えられる。

主要なイベントは、海外では25日に10-12月期の米GDP改定値等が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。